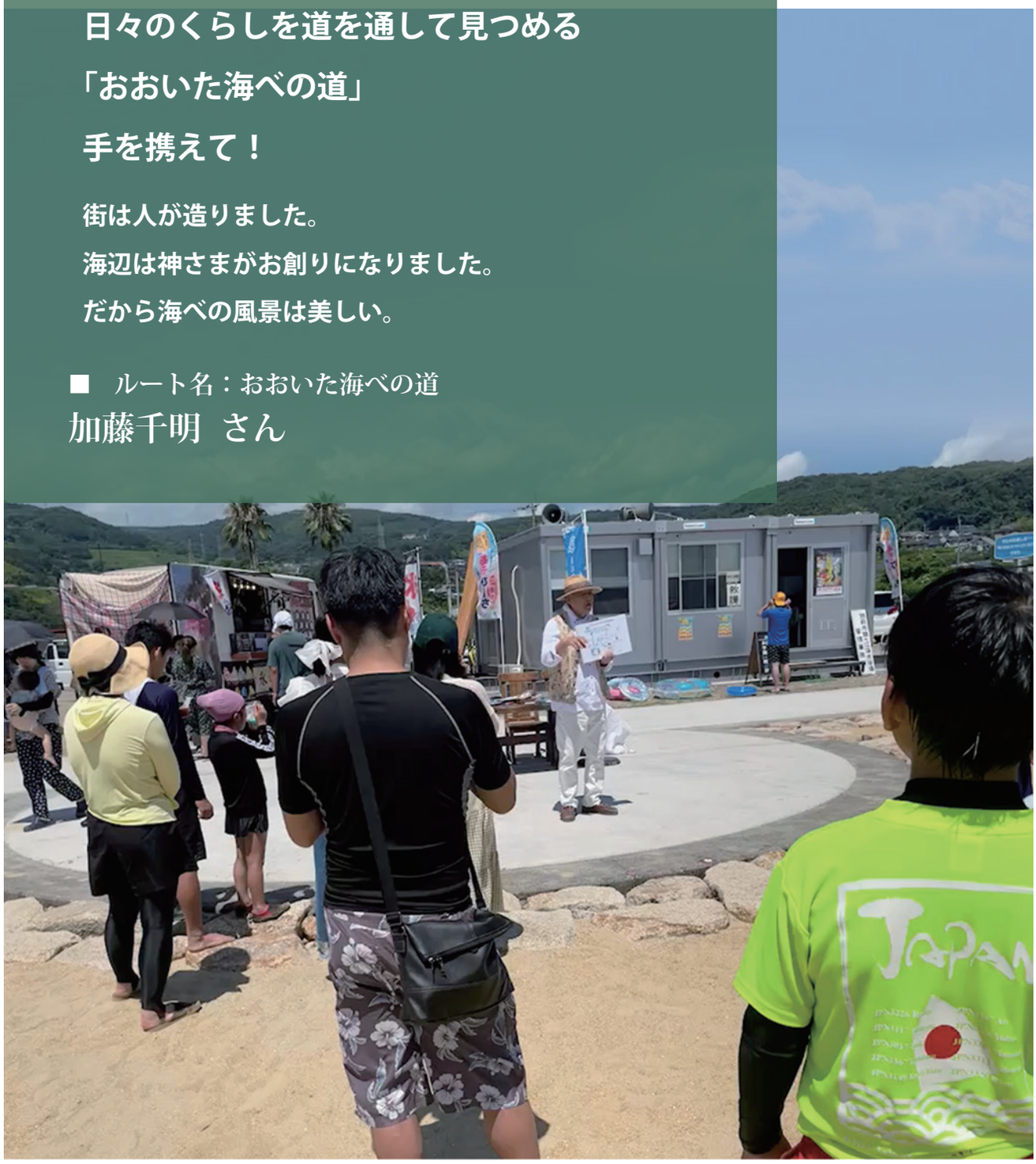
Scenic Byway Kyushu Meister

なにげない風景・なにげない日常
日々のくらしを道を通して見つめる
「おおいた海べの道」
手を携えて！

街は人が造りました。
海辺は神さまがお創りになりました。
だから海べの風景は美しい。

■　ルート名：おおいた海べの道

加藤千明　さん



おおいた海べの道の事務局員
NPO 法人日本風景街道
コミニティ理事
加藤　千明さん

◆ 特徴的な活動

「美しい景観づくり」
- 海岸・河川清掃 (海を守ろう !!)

「企画全般のコーディネーター」
- プランニング
- 資金調達
- 人材育成
- 講演　等

「活力ある地域づくり」
- 日本世間遺産学会
- 別府温泉とまちまち博
- 3 つの輪 (道守 × 道の駅)
- 西瀬戸 5 県連携サイクル (5 つのペダル)
- Traditional おおいた × 南いよ連携事業

活動内容

おおいた海べの道の事務局員である加藤千明氏は、２０１５年度に九州風景街道マイスターに認定。現在はＮＰＯ法人日本風景街道コミニティ理事として、地域活性活動の傍ら、別府湾岸や国東半島など、大分県の海岸沿いをフィールドに海岸線の魅力、美しさの再発見、創出、地域の誇りのブラッシュアップ、地域主体の協働のもと、原風景の質向上、地域活性化、観光振興などの活動に取り組んでいる。

Scenic Byway Kyushu Meister
おおいた海べの道
加藤　千明 さん

世間遺産学会の開催

世界遺産ならぬ「世間遺産」。人々のなにげない日常生活の中で、生まれ消えていく風景。地層のように、町には風景層が幾重にも重なっている。初めて見るけどなつかしく愛おしい風景。歩き、語り、発見する。当たり前の景色に、愛しさを感じることであなたは風景とは何かを知る。

11年の経験で

これからの日本は人口減少による加速度的シュリンクの社会となる。

自治には国や市町村による「団体自治」と、住民が直接話し合い活動する「住民自治」がある。

私たちの社会は好むと好まざるとに拘わらず「縮んで」いく。これまでの右肩上がりの時代に縮んでしまった住民自治の埋火に息を吹きかけ火をおこす活動。風景街道には団体自治と住民自治の中間団体としてのミッションがあると考えている。つまり「当事者」に寄り添う「共事者」としての補助輪の役割なのだ。

四国とつながる

『豊予海峡交流圏交流促進事業』として「まつり」をテーマとした「Traditional おおいた × 南いよ連携事業」や愛媛・広島・山口・福岡・大分5県連携サイクルツーリズムの企画開催など、多様な団体の連携強化を推進している。